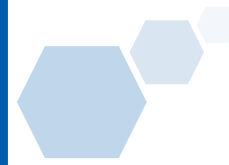


ICANN64 Kobe

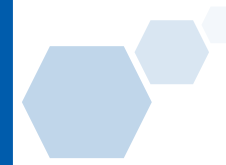
New gTLD Subsequent Procedures PDP



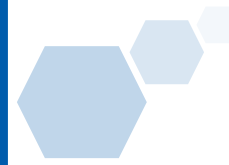
2019年5月28日



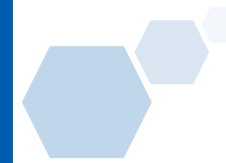
- ICANN64について pg 4
- GMOインターネットグループの参加 pg 7
- 新gTLD次回申請募集のポリシー策定について pg 11



- ICANN64とGMOインターネットグループの参加についての共有
- 新gTLDポリシー策定の経緯と現状についての共有
- ICANN神戸ミーティングで議論された内容のハイライトを共有
- 今後のタイムラインについての理解



第64回ICANN神戸ミーティングについて



第64回ICANN神戸ミーティングは、3月9日～14日まで開催された。ICANNのCommunity Forumであり、日本で約20年ぶりの開催であった。

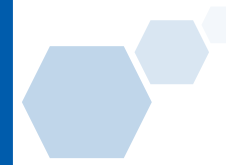
ICANNが公開する数字報告によって：

- 1,759人が参加した。
- 275件のセッションが約516時間に開催された。
- 10,938Gのデータ通信量があった。

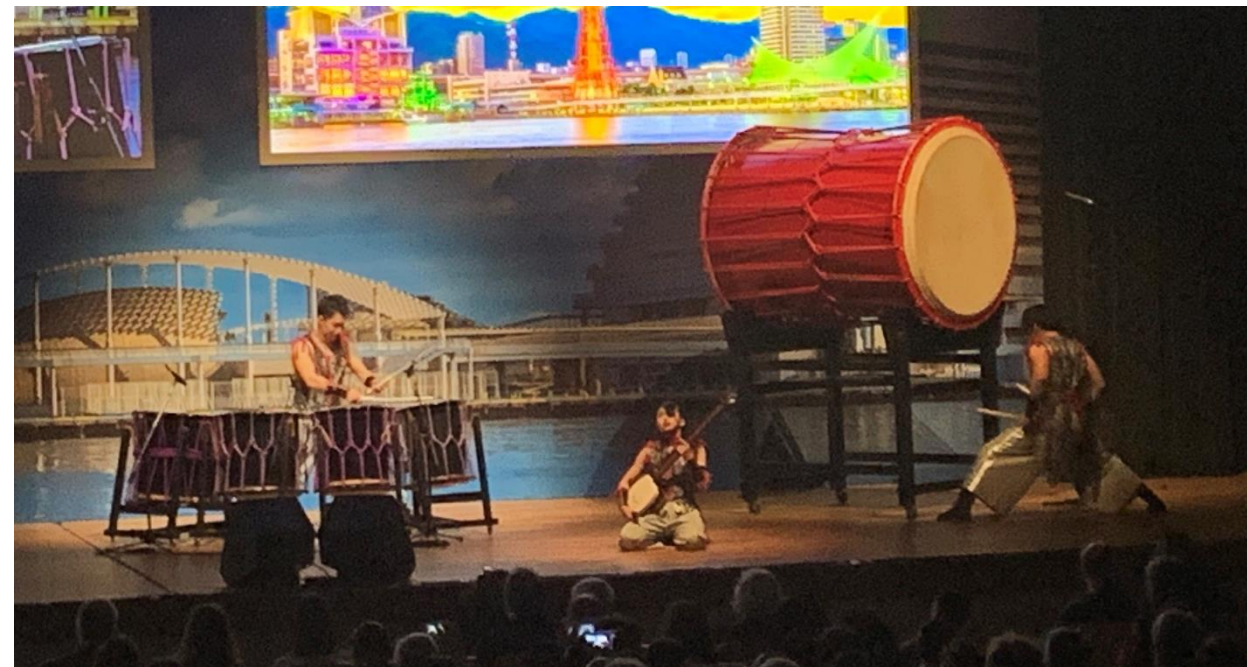


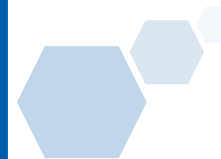
注目された課題：

- WHOISの将来・ePDPの議論の進捗
- 新gTLDのポリシー策定の続き
- RPMポリシー策定においてデータ集計の結果

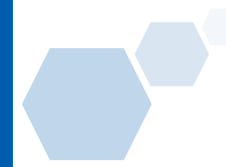


伝統的な音楽とパーティ



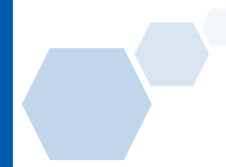


GMOインターネットグループの参加



会場内:

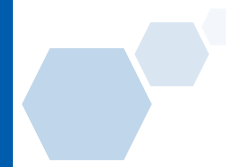




弊社ブース:

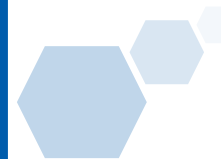
伊藤園様と連携してお茶を提供



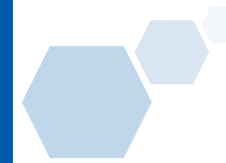


弊社からの参加者

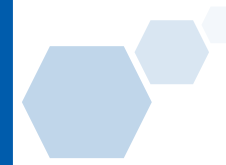




新gTLD次回申請募集のポリシー策定について



- 2012年にICANNが新gTLDプログラムを開始して、インターネット上に1,200件以上のTLD（トップレベルドメイン）が増えた。
- New gTLD Subsequent Procedures Policy Development Working Group（次回新gTLD申請受付ポリシー策定のワーキンググループ）が2015年Q4より開始された。
- 目的：2012年の新gTLDプログラム（ファーストラウンド）に使用されたポリシーをレビューし、改善する。以降の申請募集機会の基となるポリシーを策定する。
- ワーキンググループの実績
 - 5つの作業トラック（Work Track・WT）における協議
 - Community Commentを2回（CC1とCC2）
 - 中間報告書（Initial Report）のパブリックコメント
 - 補足報告書（Supplementary Report）のパブリックコメント



- パブリックコメントをレビューするため、WGがサブグループA, B, とCに分かれて、コメントを検査して議論順位を決定した。
- 現在WGは包括的な課題に関して最終的な結論に至るための議論を行っている。
- 固まってきた包括的な課題に関する議論を要約文書にまとめる。
- 以下の内容に関して方向性が決まってきている。
 - Continuing Subsequent Procedures
 - Predictability
 - Clarity of Application Process
 - Applications Assessed in Rounds
 - Different TLD Types
 - Applications Submission Limits
 - Accreditation Programs (e.g., RSP Pre-Approval)

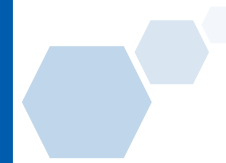
神戸では、全体WGのセッションは3回開催された。

3月9日（土曜日）

- 1回目全体WGセッション（13:30～15:00）未解決の課題の議論①：
Closure of a Round（ラウンドの終了による影響とは）
- 2回目全体WGセッション（15:15～16:45）未解決の課題の議論②：
Limited Appeals Mechanism（限定上訴メカニズム）

3月13日（水曜日）

- 3回目全体WGセッション（15:15～16:45）解決しそうな課題：
Applicant Guidebook（申請開度ブック）
Systems（システム）
Communications（コミュニケーション）
Universal Acceptance（ユニバーサルアクセプタンス）
Applications Submission Limits（申請期間の限界）



What : 次回新gTLD申請募集期間に続く、さらなる新gTLD申請募集はどのようなタイミングで開催されるのかという課題に関わる。

重要質問 :

- 新gTLD申請期間の「**ラウンド**」は何を意味する？
- ラウンドの終了による影響とは？

議論内容 :

- 次のラウンドの開始日を事前に決定する。
- 事前のラウンドから何割申請数が処理され次第、次のラウンドが始まる。
- ある程度の進捗がなければ、決定日までに次のラウンドが始まらない。
- ラウンドの終了の引き金に関わる要素。
- 停滞の申請者をどう処理するか。処理する必要があるのか？

方向性 :

- 次回の新gTLD申請募集をラウンドの形式で行う。
- それ以降の申請募集は、前方ラウンド前に開始目安及びその条件を明確にする。
 - 開始までの待機期間
 - 申請数処理の必要な割合

What : Limited Appeals Mechanismは、ICANNの付属定款の説明責任のメカニズム (IRP) 以外の上訴メカニズムを意味する。申請ガイドブックと反するICANNによる行動や裁決を上訴するためである。

重要質問：

- 実質的かつ手続きの上訴が対象となる。
- クイック・ルックのメカニズムを実施する。
- 上訴の結果としての影響とは？
- 負けた方が訴訟費用を払う。
- 第三者を仲裁人として指定する。

議論内容：

- Limited Appeals Mechanismを既存の説明責任のメカニズムと混乱してはいけない。
- 新型のIRPで目的を果たせないかどうか。

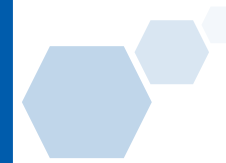
方向性：

- 中間報告書にLimited Appeals Mechanismに合意があったものの、セッションでは、IRPと異なる上訴手続きを定めることに反論があった。
- Limited Appeals Mechanismについて再度WGに紹介する。

What : 中間報告書のコメントを得た上、ポリシーの結論が見えてきた課題である。課題において多少未解決の内容が残っているため、少しの議論で結論がまとまるだろう。

対象課題 :

- Applicant Guidebook (申請開度ブック)
- Systems (システム)
- Communications (コミュニケーション)
- Universal Acceptance (ユニバーサルアクセプタンス)
- Applications Submission Limits (申請期間の限界)



What：申請及び運用段階において、ユーザが申請を提出するかつTLDを運用するためのシステムを意味する。ICANNが品質高いシステムを提供するために長持ちのQAとベターテストを行うべき。また、ユーザーフレンドリーのシステムであるべき。

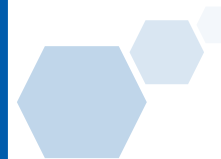
例えば：申請書の解答欄に同一の内容がある場合、システムは、多数申請に同じ回答を記入しやすくなるようにサポートがあるべきと考えられる。

議論内容：

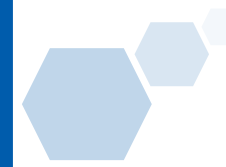
- 主な議論は、多数の同一申請のサポートに関して異論があった。
 - 同じ申請者による多数申請を促してはいけない。
 - 共通内容、もしくはコピーペーストの記入式を禁止すべき。
- 反論によって、本件の推奨がユーザビリティの面に基づいており、多数申請の重複内容は、論点から外れる。

方向性：

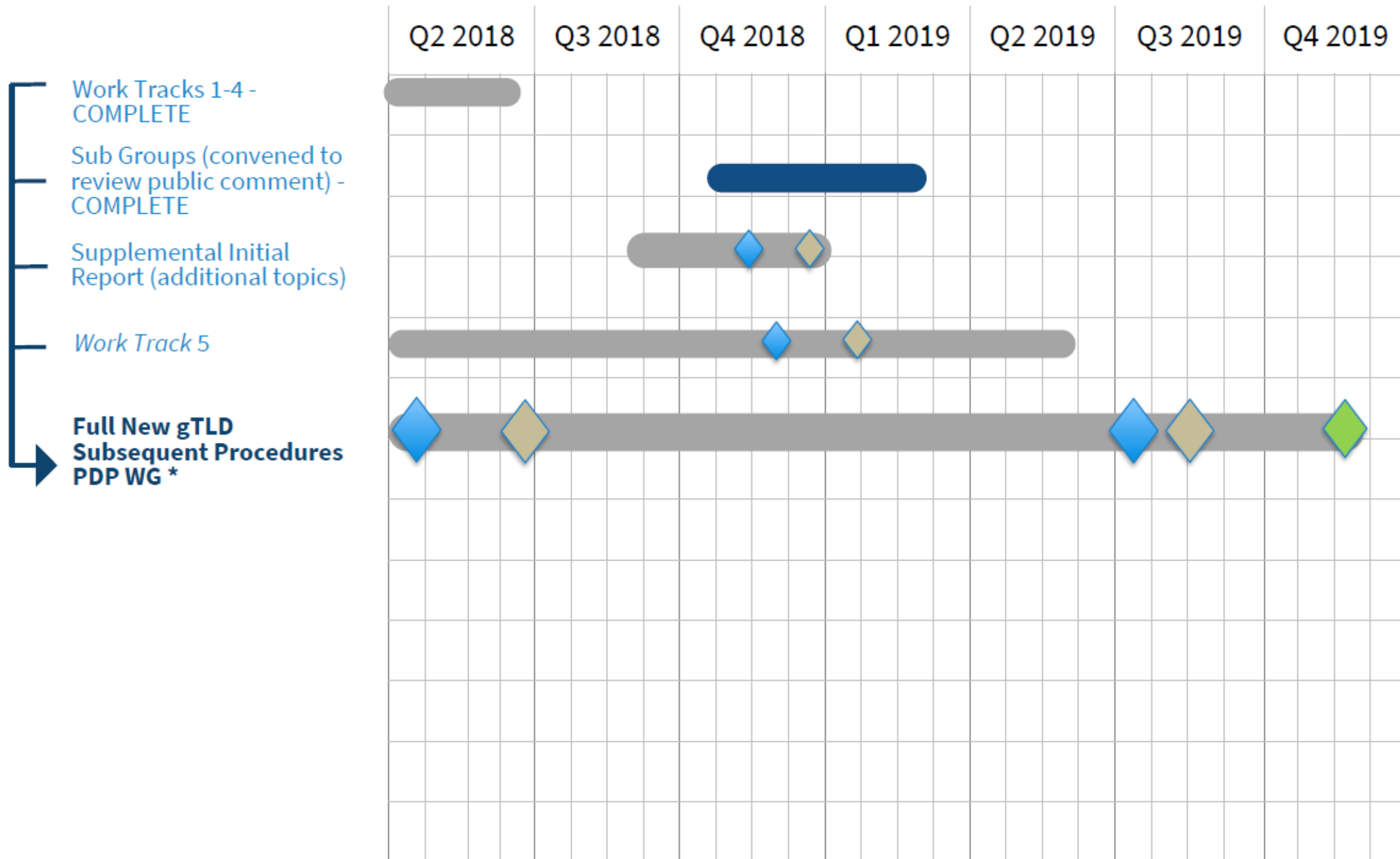
- ユーザビリティの面において推奨された内容が論点外の課題につながったと考えられる。
- システムを複雑にすればするほど、開発に時間がかかるため、難しい発展を避けるべき。



- 新gTLDポリシー策定の中から結成されたサブグループである。
- 目的：作業トラック5はトップレベル（TLDレベル）での地理的名称に関するポリシーをレビューし改善する。
- 作業トラックの実績
 - GNSO, ccNSO, GAC, ALACからの4名の司会者チーム
 - 2017年末から現在まで週次でミーティング開催
 - 2018年12月5日～2019年2月1日まで中間報告書のパブリックコメント
- 作業トラックの現状
 - 42件のコメントを受領した。
 - 作業トラックが各コメントをレビュー中である。



SubPro Timeline – Add'l Public Comment



KEY



Publish Initial Report

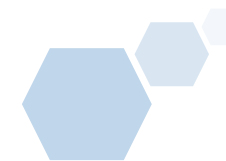


Close of Public Comments



Final Report Delivered to Council

出典: ICANN



当資料に関するお問い合わせは、下記までお願い申し上げます。

GMO Brights Consulting

GMOブライツコンサルティング株式会社

Michael Flemming

e-mail : consul@brights.jp

TEL : 03-5784-1069

Fax : 03-3462-5040

- 当資料の著作権は、GMOブライツコンサルティング株式会社に帰属しています。
- 著作権者の承諾なしにコンテンツを複製、他の電子メディアや印刷物などに再利用(転用)することを禁じます。
- その他の会社名、商品名、サービス名、ロゴは、それぞれを表示するためだけに引用されており、それぞれ各社の登録商標あるいは出願中の商標もしくは商号である場合があります。